

シンポジウムのご案内

だれのための捜査だったのか？

警視庁新宿署のおどろくべき「捜査」の実態を解明する！

主催：明るい警察を実現する全国ネットワーク

問い合わせ先：03（3353）3399

（さくら通り法律事務所内）

警視庁警察官が熱心に取り組む職務質問+微罪事件処理ノルマ、不当な分限免職、いじめ人事は、現場の警察官が組織に虐げられていることの現れ。

東京地裁に係属中の、新宿署ちかん犯人ねつ造自殺事件・国家賠償裁判。東京地検が提出した不起訴記録が示す新宿署の「捜査」の驚くべき実態。現場の警察官だけにできるはずがない、隠ぺい工作。元北海道警幹部の原田宏二氏が分析に挑みます。

日本の警察の現実を一緒に考えましょう。

日時：2012年9月29日（土）午後2時～5時

場所：スター貸会議室 四ツ谷第2

（東京都新宿区四谷 1-8-6 ホリナカビル 301号室）

【交通】営団地下鉄南北線・四ツ谷駅徒歩2分

JR四ツ谷駅、営団地下鉄丸の内線・四ツ谷駅徒歩3分

参加費：500円（資料代）

内容：①報告：担当弁護士+当事者

報道されない警察の現実

岩手県警、宮城県警、警視庁、神奈川県警、静岡県警、福岡県警など

②講演：原田宏二（元北海道警察釧路方面部長）

元方面本部長からみた日本の警察のいま

③パネルディスカッション：原田宏二+被害者+弁護士

市民目線で考える／日本の警察のなにが問題か？



ホリナカビル3階・スター貸し会議室第2